

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 多賀高等学校体育館

【女子の部】 第1日目 Kコート 第3試合

チームA 明成 宮城	56	{ 12 1Q 24 19 2Q 21 12 3Q 22 13 4Q 15 OT	82	チームB 熊本国府 熊本
-------------------------	----	---	----	---------------------------

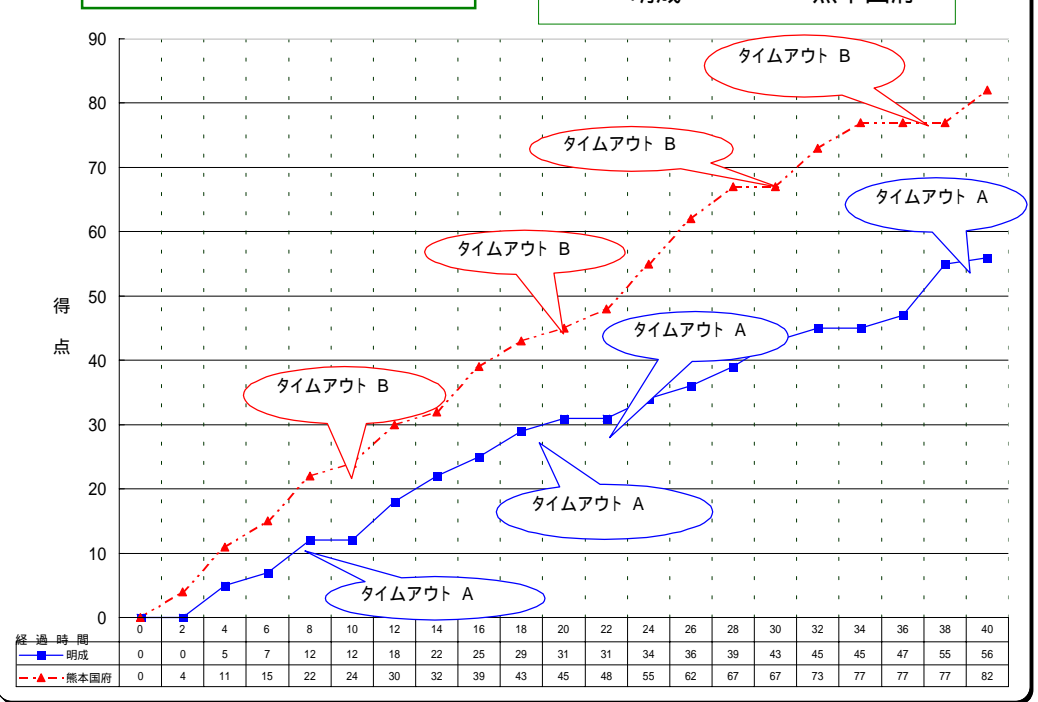
明成

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	菅野 恵子	16	0	3	7	17	2	6	3	0	7	7	1	2	0	39
5	吉田 彩	2	0	1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	5
6	早坂 美希	6	0	0	3	11	0	0	3	3	5	1	0	1	0	25
7	赤松 由佳	2	0	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
8	阿部 三希	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
9	我妻真唯子	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
10	三浦 香織															DNP
11	大友 紗希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	佐藤こずえ	5	0	3	2	4	1	1	1	1	2	4	0	2	0	29
13	小野寺ゆみ	15	1	2	3	5	3	4	2	1	2	2	1	2	0	37
14	柳 希定	9	3	3	0	1	0	0	2	1	3	1	1	2	0	33
15	遠藤ゆかり	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	1	1	1	0	12
コーチ	桜井 俊夫								0							
		56	4	15	18	47	8	13	15	6	20	16	4	10	0	200
		確率	26.7%	38.3%	61.5%				計	26						

熊本国府

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	中川祐貴子	6	0	0	3	4	0	0	2	1	1	0	1	0	0	10
5	川田 朋恵	19	2	5	6	11	1	2	2	0	2	2	0	1	0	39
6	米田 貴子	16	4	9	2	5	0	0	3	0	3	1	2	7	0	38
7	井村 恵里	4	0	8	2	5	0	0	1	2	1	1	1	2	0	37
8	藤井 裕子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	5
9	吉北 聡美	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
10	東 由紀子	11	0	0	5	8	1	1	5	3	0	1	0	1	0	26
11	吉田 舞	23	0	0	10	21	3	7	3	5	8	2	2	3	0	39
12	坂田亜紀奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	大塚 麻友	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	長谷川 愛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	麻生 尚	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	前田 繁								0							
		82	7	24	28	56	5	10	17	11	15	8	7	14	0	224
		確率	29.2%	50.0%	50.0%				計	26						

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。熊本は#10東、#5川田のドライブインで得点を重ねるのに対し、明成は#4菅野にボールを集めてポストプレイを仕掛ける。しかし熊本の徹底したスクリーンアウトの前にリバウンドを取ることができない。その後熊本は#7井村のドライブイン、#6米田の3Pシュート等で徐々に点差を離していく。

第2Pになり明成が次第にリバウンドを取り、身長を生かした#4菅野、#6早坂のポストプレイで得点をするのに対し、熊本は脚力を使って#11吉田の速攻からのシュート、#5川田と#6米田の2線速攻等で得点の入れ合いになり、31-45で第2P終了。

第3Pに入ると、明成は2-1-2ゾーンディフェンスを仕掛ける。熊本のドライブインは止めることができたが、オフェンスではリズムが悪くなりターンオーバーを連発してしまう。次第に熊本は#4中川の速攻からシュートを皮切りに、速攻を立て続けに展開し、得点を加えていく。ゾーンでは防御できなくなった明成は、残り3分からプレスディフェンスに切り替え、積極的にボールを取りに行くが、熊本の速さの前に止めることができず、次々と失点をしてしまい、第3P終了時には67-43と熊本がリードを広げた。

第4Pも熊本の有位は変わらず、結局82-56で熊本の圧勝に終わった。熊本国府のコート را動き回るスピードの速さと豊富な運動量が目についた試合であった。

主審 野口浩正

副審 尾花幸雄

記入者 高橋和則